

自働車の歴史！

世界で初めて作られた自動車は（1769年、日本は江戸時代）蒸気自動車でした。

大砲を運ぶための荷車のような形！ 時速も10km以下。

その後電気自動車が発明され、ガソリン車も作られるようになりました。

日本には、1898年（明治31年）初めて自動車が持ち込まれ、

1904年には岡山で「山羽式蒸気自動車」が

国産車とし始めて作られました（写真）

乗合自動車（バス）として開発されましたが

タイヤがすぐ外れて実用化ならず。

倉庫入りとなってしまいました…残念！

でも、最初に作られた自動車が個人用ではなく、一般の人の役に立つものというのがなんか日本的な感じがするのは私だけでしょうか。



2040年までにはイギリス・フランスが、ガソリン車とディーゼル車の新規販売を禁止すると表明されている今、そして自動運転技術推進に拍車がかかっている今、今後どのような車が生き残っていくのか考えないと、関連する中小企業へ、変革の津波が襲ってくる……かもしれませんね。

（写真：「GAZOO よくわかる自動車歴史館」より）